
7 1 0 6 . 内航船フィーダー運送陸揚呼出し

業務コード	業務名
C Y U 1 1	内航船フィーダー運送陸揚呼出し

1. 業務概要

- (1) 輸入コンテナ陸揚一括処理が入力されていない場合（以下「呼出し処理」という。）

「内航船フィーダー運送陸揚登録（CYU）」業務に先立ち、「内航船フィーダー運送積込登録（CYL）」業務で入力者のCYを揚地として登録されたコンテナ番号を内航船単位に呼出す。

- (2) 輸入コンテナ陸揚一括処理に「Y」が入力されている場合（以下、「輸入コンテナ陸揚一括処理」という）

CYL業務で登録された輸入コンテナのうち、入力者のCYを揚地とするコンテナ番号を呼び出すことなく、内航船単位に一括で内部処理を行い、陸揚（搬入）登録を行う。

搬入時申告の自動起動を行う旨が登録されている貨物について、システムで定めた条件を満たしたとき、システムは本業務を契機に申告処理（輸入申告、保税運送申告、輸入畜産物検査申請等）を自動起動する。

2. 入力者

CY

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

- (1) CYU11業務の場合

- (A) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

- (B) 入力項目チェック

- (a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

- (b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

- (C) 船舶（内航船）DBチェック

入力された内航船船舶コードに対する船舶（内航船）DBが存在すること。

- (D) 呼出し処理の場合

- (a) 内航船フィーダー運送情報DBチェック

①入力された内航船船舶コード、内航船船舶名、内航船航海番号および入力者が管理する保税地域に対する内航船フィーダー運送情報DBが存在すること。

②入力者が管理する保税地域に陸揚（搬入）可能なコンテナが1件以上登録されていること。

- (E) 輸入コンテナ陸揚一括処理の場合

- (a) 内航船フィーダー運送情報DBチェック

①入力された内航船船舶コード、内航船船舶名、内航船航海番号および入力者が管理する保税地域に対する内航船フィーダー運送情報DBが存在すること。

②入力者が管理する保税地域に陸揚（搬入）可能な輸入コンテナが1件以上登録されていること。

- (2) 輸入コンテナ陸揚一括処理の場合で、CYU11業務正常終了後の内部処理の場合

- (A) コンテナ情報DBチェック

内航船フィーダー運送情報DBより陸揚（搬入）対象となる輸入実入コンテナ番号を抽出し、以下のチェックを行う。

①抽出したコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在すること。

②輸入実入りコンテナであること。

- ③入力者の管理する保税地域に向けて搬出された旨が登録されていること。
- ④入力者が管理する保税地域において陸揚（搬入）確認済となっていないこと。

(B) 貨物情報DBチェック

抽出したコンテナ番号に対して貨物管理番号*¹が登録されていた場合は、以下のチェックを行う。

- ①当該貨物管理番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- ②保税運送承認済でかつ発送地における搬出確認の旨が登録されていること。

(＊ 1) 貨物管理番号とは、B／L番号または輸出管理番号のことをいう。

5. 処理内容

(1) CYU11業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 呼出し処理の場合

(a) 内航船フィーダー運送陸揚呼出情報編集処理

内航船フィーダー運送情報DBより内航船フィーダー運送陸揚呼出情報の編集及び出力を行う。
出力項目については「出力項目表」を参照。

(b) 注意喚起メッセージ出力処理

呼出情報を元に登録内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

(C) 輸入コンテナ陸揚一括処理の場合

(a) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(b) 内部処理起動処理

抽出したコンテナ番号を1コンテナごとに分割し、内部処理を行う。

(c) 注意喚起メッセージ出力処理

- ①内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。
- ②本業務の実施日と積込（搬出）年月日の差が7日以上の場合に、その旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。
- ③本業務の実施日が所要時間調査期間中である旨がシステムに登録されており、陸揚時刻が入力されていない場合は、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

(2) 輸入コンテナ陸揚一括処理の場合で、CYU11業務正常終了後の内部処理の場合

(A) コンテナ情報DB処理

CYに陸揚（搬入）した旨を登録する。

(B) 貨物情報DB処理

抽出したコンテナ番号に関連付けられている貨物管理番号が存在する場合は、CYに陸揚（搬入）した旨を登録する。

(C) 保税運送申告DB処理

抽出したコンテナ番号に関連付けられている貨物管理番号に係る貨物情報DBから保税運送申告番号（個別運送管理番号または特定保税運送番号を含む。以下同様。）を取得し、当該保税運送申告番号に対する保税運送申告DBに到着確認した旨を登録する。

(D) 申告の起動処理

(a) 輸入申告の起動処理

詳細は「輸入申告（IDC）」業務を参照。

(b) 保税運送申告の起動処理

詳細は「保税運送申告（OLC）」業務を参照。

(c) 輸入畜産物検査申請自動起動処理

輸入畜産物検査申請（到着後申請自動起動）の旨が登録されている場合、B/L番号単位に輸入畜産物検査申請（到着後申請）を自動起動する。

(E) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) CYU11業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
内航船フィーダー運送陸揚呼出結果情報	呼出し処理の場合	入力者

(2) 輸入コンテナ陸揚一括処理の場合で、CYU11業務正常終了後の内部処理の場合

情報名	出力条件	出力先
エラー通知情報（陸揚情報）	なし	入力者
内航船フィーダー運送陸揚コンテナ情報	内部処理において、処理対象のコンテナが1件以上正常終了した場合	入力者
危険貨物等通知情報	陸揚（搬入）するコンテナ番号に関連付けられた貨物管理番号の貨物情報DBに危険貨物等コード（税関要通知）が登録されている	入力者の管理する保税地域の管轄税関（保税担当部門）
事故貨物通知情報	貨物が保税運送期間を経過している	入力者の管理する保税地域の管轄税関（保税担当部門） 輸出申告を行った利用者または運送を登録した利用者